

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 日邦産業株式会社

コード番号 9913 URL <http://www.nip.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 大塚 眞治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 笹倉 健一郎

TEL 0587-98-1227

四半期報告書提出予定日 平成24年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	30,445	0.8	437	△51.1	322	△58.9	295	△54.9
23年3月期第3四半期	30,192	21.4	894	71.3	784	53.5	654	43.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △65百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 482百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	33.21	—
23年3月期第3四半期	73.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,431	8,555	39.4
23年3月期	19,739	8,790	43.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,434百万円 23年3月期 8,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	0.4	300	△69.1	230	△73.5	160	△77.9	18.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

24年3月期3Q	9,127,338 株	23年3月期	9,127,338 株
24年3月期3Q	240,154 株	23年3月期	240,066 株
24年3月期3Q	8,887,247 株	23年3月期3Q	8,887,358 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災に起因したサプライチェーン途絶の問題、歴史的な円高、さらには10月に発生したタイ王国における洪水被害の影響等を受け、先行き不透明な中で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは取引先の復旧及び生産移管を含めた生産計画の把握に努めると共に、効果的な経営資源の再分配と支出の抑制をはじめとする合理化を図り、生産性の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は30,445百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は437百万円（前年同期比51.1%減）、経常利益は322百万円（前年同期比58.9%減）、四半期純利益は295百万円（前年同期比54.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

モビリティ事業

自動車メーカー及び自動車部品メーカーに対して、電子制御関連部品を核とした樹脂成形品の製造及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、前述のサプライチェーンの途絶、並びにタイ王国で発生した洪水に伴う生産調整の影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は6,815百万円（前年同期比11.6%減）、セグメント利益88百万円（前年同期比69.6%減）となりました。

エレクトロニクス事業

コンピュータ及びクリーンエネルギーに関連する市場に対して、ファブレスメーカーまた専門商社として、高機能材料、部品、治具並びに機器等の調達及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、携帯端末向けの高機能材料及び部品が堅調に推移したものの、エコポイント制度終了から続く大型液晶関連部品の需要減退と前述のサプライチェーンの途絶、並びにタイ王国で発生した洪水に伴う生産調整の影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は10,307百万円（前年同期比6.7%減）、セグメント損失は44百万円（前年同期は84百万円のセグメント利益）となりました。

精密機器事業

OA、精密機器市場に対して、部品、ユニット品の製造及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、プリンター（インクジェットプリンター及びレーザープリンター）部品は堅調に推移したものの、カメラ部品はサプライチェーンの問題により一時的な生産調整を余儀なくされました。また、海外生産拠点における人件費の高騰も利益に影響を及ぼしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高6,362百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益は239百万円（前年同期は53.4%減）となりました。

住宅設備事業

住宅設備機器市場に対して、ファブレスメーカーまた専門商社として、ブラインドのコントロールユニット、樹脂配管部品並びに高機能材料等の調達及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、国内外において堅調に推移している高効率給湯器向け樹脂部品とともに、東日本大震災に関連する仮設住宅及びリフォーム需要に支えられ建築資材が好調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの売上高は2,541百万円（前年同期比28.3%増）、セグメント利益は84百万円（前年同期比49.6%増）となりました。

その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID事業等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は5,188百万円（前年同期比18.7%増）、セグメント利益は93百万円（前年同期比122.1%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,339百万円増加し13,773百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が1,203百万円増加したことなどが主な要因となっております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて352百万円増加し7,657百万円となりました。これは、投資有価証券が149百万円減少したものの有形固定資産合計が626百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1,692百万円増加し21,431百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,871百万円増加し10,173百万円となりました。これは短期借入金が1,056百万円増加したことに加え、支払手形及び買掛金が911百万円増加したことなどが主な要因となっております。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて54百万円増加し2,701百万円となりました。これは退職給付引当金が71百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1,926百万円増加し12,875百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて234百万円減少し8,555百万円となりました。これは為替換算調整勘定が286百万円減少したことなどが主な要因となっております。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より4.3ポイント減少の39.4%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期における国内の事業環境は回復が見込まれるものの、海外はタイ王国における洪水による影響を予想しております。この状況を勘案し、平成23年11月7日付公表の「平成24年3月期の連結業績予想」を据え置くことといたしました。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,582,791	3,697,675
受取手形及び売掛金	7,319,046	8,522,866
商品及び製品	662,591	687,544
仕掛品	150,070	152,313
原材料及び貯蔵品	365,408	327,705
繰延税金資産	122,851	117,083
未収入金	145,117	157,100
その他	89,088	115,615
貸倒引当金	△2,542	△4,287
流動資産合計	12,434,423	13,773,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,439,829	4,792,786
減価償却累計額	△1,820,795	△1,864,476
建物及び構築物（純額）	2,619,033	2,928,310
機械装置及び運搬具	4,475,127	4,192,273
減価償却累計額	△3,527,834	△3,049,451
機械装置及び運搬具（純額）	947,293	1,142,821
工具、器具及び備品	651,478	506,163
減価償却累計額	△513,402	△393,715
工具、器具及び備品（純額）	138,075	112,448
土地	587,636	566,936
建設仮勘定	112,967	281,381
有形固定資産合計	4,405,006	5,031,897
無形固定資産	181,165	185,442
投資その他の資産		
投資有価証券	1,166,110	1,016,940
繰延税金資産	82,030	116,082
その他	1,521,988	1,361,712
貸倒引当金	△51,697	△54,509
投資その他の資産合計	2,718,431	2,440,226
固定資産合計	7,304,604	7,657,566
資産合計	19,739,027	21,431,184

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,736,301	6,647,344
短期借入金	318,477	1,374,900
1年内返済予定の長期借入金	846,096	819,736
1年内償還予定の社債	130,000	130,000
未払法人税等	51,500	29,433
賞与引当金	202,345	134,638
その他	1,017,194	1,037,856
流動負債合計	8,301,916	10,173,908
固定負債		
社債	290,000	225,000
長期借入金	1,377,445	1,415,651
繰延税金負債	45,296	43,210
再評価に係る繰延税金負債	5,300	4,650
退職給付引当金	610,300	681,601
環境対策引当金	10,502	10,502
資産除去債務	52,159	51,030
負ののれん	23,717	17,884
その他	232,357	252,352
固定負債合計	2,647,080	2,701,883
負債合計	10,948,996	12,875,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,137,754	3,137,754
資本剰余金	2,343,068	2,343,068
利益剰余金	4,177,024	4,338,901
自己株式	△155,213	△155,249
株主資本合計	9,502,633	9,664,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,615	23,897
土地再評価差額金	6,789	7,438
為替換算調整勘定	△975,327	△1,261,495
その他の包括利益累計額合計	△871,922	△1,230,159
新株予約権	36,235	—
少数株主持分	123,084	121,076
純資産合計	8,790,031	8,555,391
負債純資産合計	19,739,027	21,431,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	30,192,186	30,445,356
売上原価	26,154,666	26,726,420
売上総利益	4,037,520	3,718,936
販売費及び一般管理費	3,142,663	3,281,624
営業利益	894,856	437,311
営業外収益		
受取利息	8,757	10,505
受取配当金	13,483	12,872
仕入割引	19,717	16,635
スクラップ売却益	22,470	24,532
その他	8,044	57,132
営業外収益合計	72,474	121,677
営業外費用		
支払利息	92,799	77,247
為替差損	81,062	150,243
その他	9,242	8,891
営業外費用合計	183,104	236,382
経常利益	784,226	322,606
特別利益		
固定資産売却益	6,635	15,198
投資有価証券売却益	—	1,166
新株予約権戻入益	164	36,235
貸倒引当金戻入額	1,000	—
特別利益合計	7,800	52,600
特別損失		
固定資産処分損	1,143	2,915
投資有価証券評価損	—	4,228
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	25,689	—
特別損失合計	26,832	7,144
税金等調整前四半期純利益	765,194	368,063
法人税、住民税及び事業税	93,212	56,288
法人税等調整額	7,557	13,719
法人税等合計	100,770	70,008
少数株主損益調整前四半期純利益	664,423	298,055
少数株主利益	9,807	2,868
四半期純利益	654,616	295,186

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	664,423	298,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81,562	△72,718
為替換算調整勘定	△100,494	△291,045
土地再評価差額金	—	649
その他の包括利益合計	△182,056	△363,114
四半期包括利益	482,367	△65,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	472,560	△63,050
少数株主に係る四半期包括利益	9,807	△2,008

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,486,379	11,052,338	5,314,732	1,981,347	25,834,797	4,357,389	30,192,186	—	30,192,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	219,599	284	507,578	—	727,463	15,287	742,750	△742,750	—
計	7,705,979	11,052,623	5,822,310	1,981,347	26,562,261	4,372,676	30,934,937	△742,750	30,192,186
セグメント利益	291,620	84,748	513,772	56,425	946,566	42,222	988,789	△93,933	894,856

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△93,933千円は、営業外取引の調整額△69,884千円、棚卸資産の調整額△15,021千円、固定資産売却の調整額△9,250千円及び貸倒引当金の調整額223千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,587,366	10,307,235	5,832,896	2,541,547	25,269,045	5,176,311	30,445,356	—	30,445,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	228,439	—	529,228	—	757,668	12,175	769,843	△769,843	—
計	6,815,805	10,307,235	6,362,124	2,541,547	26,026,713	5,188,486	31,215,199	△769,843	30,445,356
セグメント利益又は セグメント損失(△)	88,615	△44,281	239,646	84,403	368,384	93,760	462,145	△24,833	437,311

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△24,833千円は、営業外取引の調整額△21,671千円、棚卸資産の調整額5,907千円、固定資産売却の調整額△8,716千円及び貸倒引当金の調整額△354千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。